

原子力災害に伴う水稲の収穫

- 1 水稲収穫作業に伴う放射性物質の影響調査について（速報）
- 2 水稲収穫作業上の留意点

福島県農林水産部

1 水稲収穫作業に伴う放射性物質の影響調査について（速報）

（福島県農業総合センター経営・農作業科試験結果より）

水稲の刈取・乾燥・調製作業は粉塵（ふんじん）が多く発生する作業であるため、作業者のみならず**周辺環境への放射性物質の影響**が懸念されます。そこで、収穫作業に伴う放射線の影響について、主に機械付近と周辺部について調査を行いましたので、結果の概要をお知らせします。（調査は8月24日～30日に県内2カ所において実施しました。）

【 結果の概要 】

水稲の刈取乾燥調製作業においては、コンバインや乾燥機、籾摺機から相当の粉塵（ふんじん）が排出されますが、作業前と作業中を比較し、コンバインの排出部、乾燥機の排気口、籾摺機の排塵口など粉塵が直接排出される場所及びその周辺部において、放射線量の変化はほとんどありませんでした。



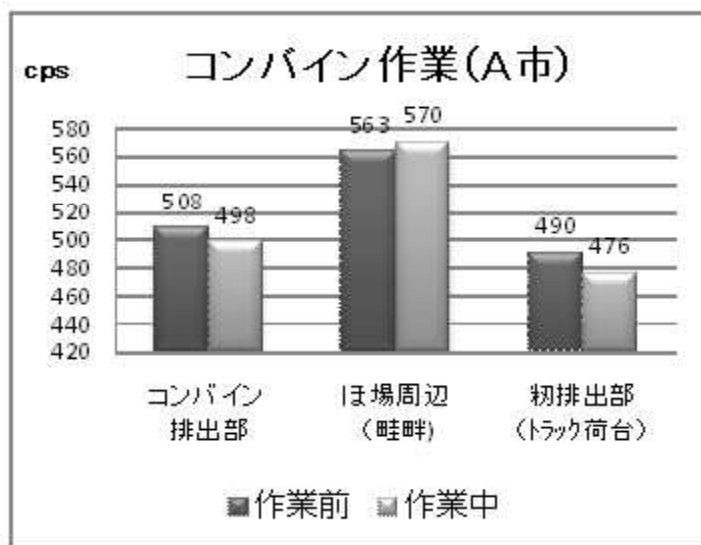
このことから、これら作業に伴う放射線の影響は見られませんでした。

（1）コンバインでの刈取作業

県内2カ所でコンバインの刈取作業に伴う放射線量の調査を行いました。

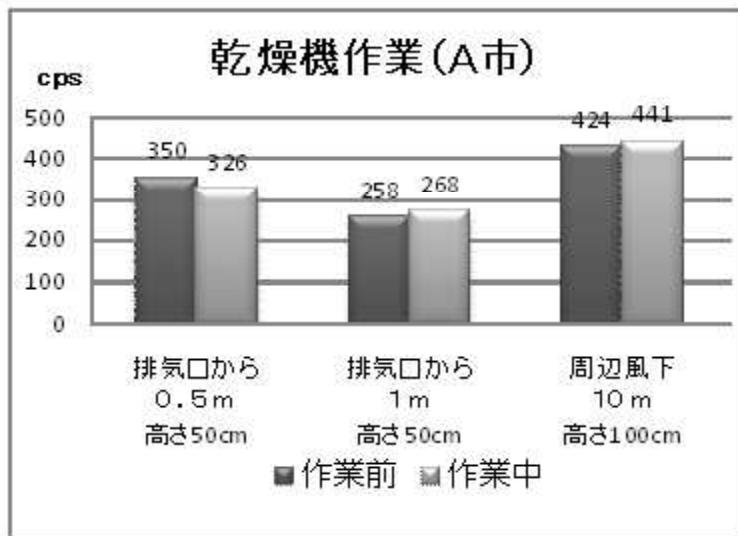
コンバインの排出部、ほ場周辺（畦畔）、籾排出時のトラック荷台における放射線量は、作業前と作業中でほとんど変化がありませんでした。

（右はA市結果ですが、B市においても同じ傾向でした）



（ cps : カウント (per) セCOND count/second (秒) 1秒間当たりの放射線カウント数)

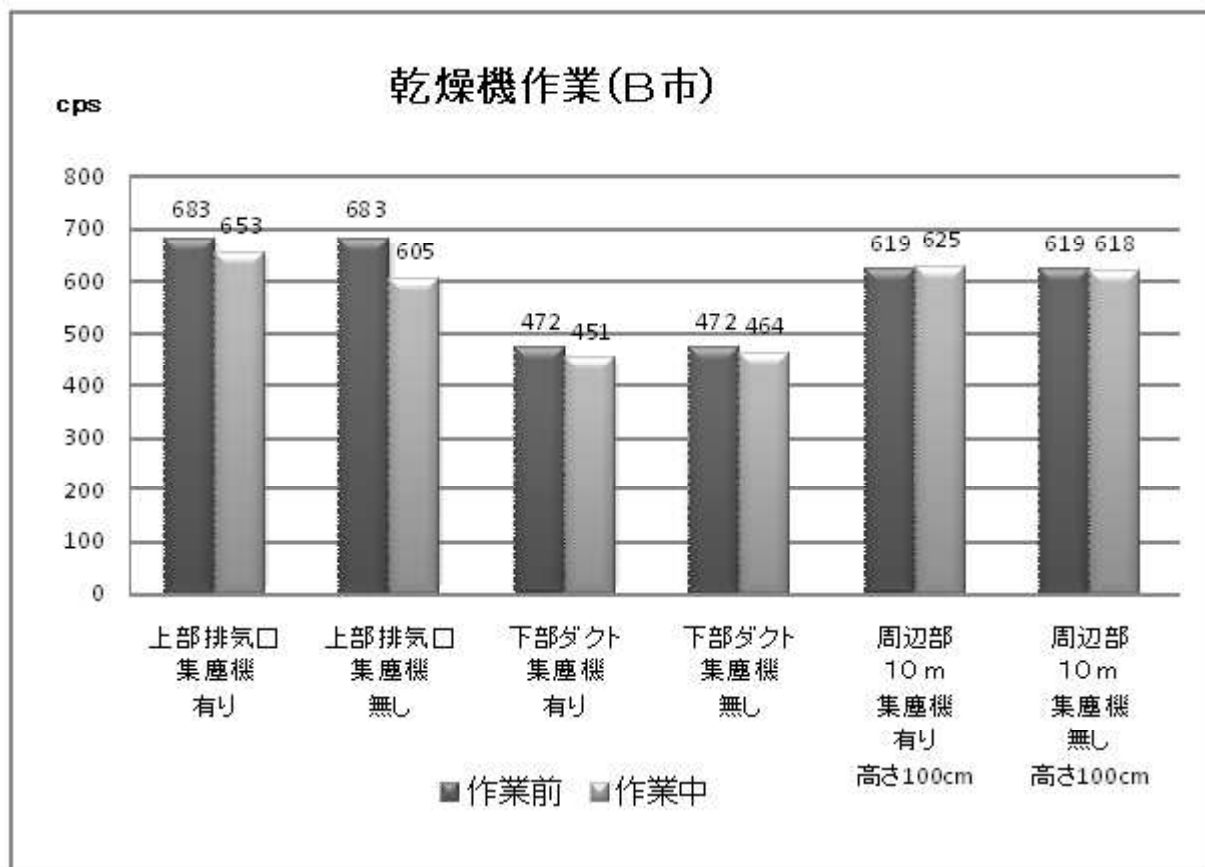
(2) 乾燥施設（作業場）における乾燥機作業



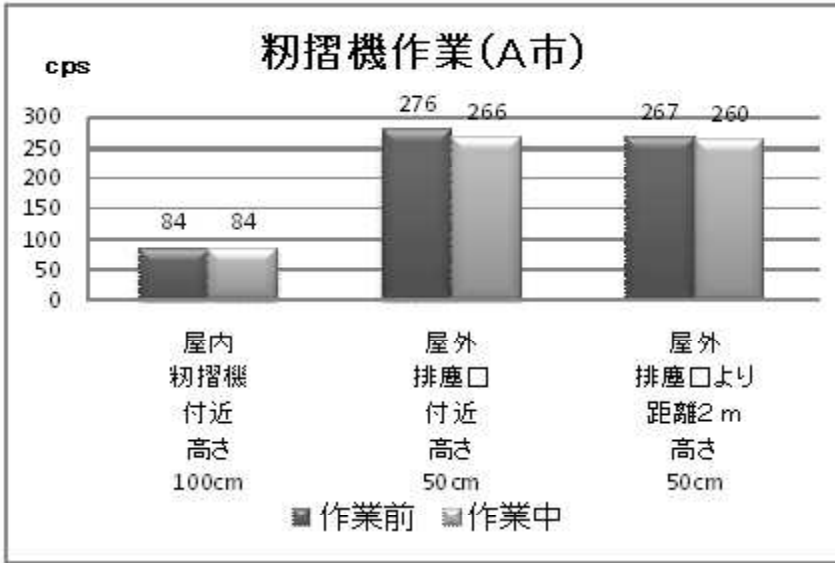
ア A市において、乾燥機作業に伴う放射線量の調査を行いました。

乾燥機の排気口付近、及び乾燥機の周辺部（風下10mの位置）における放射線量は、作業前と作業中でほとんど変化がありませんでした。

イ B市において、集塵機を設置した場合の乾燥機作業について調査を行いました。集塵機の有無にかかわらず、乾燥機上部の排気口付近（トップクリーナー部分）、下部のダクト付近及び乾燥機周辺10mにおける放射線量は、作業前と作業中でほとんど変化がありませんでした。



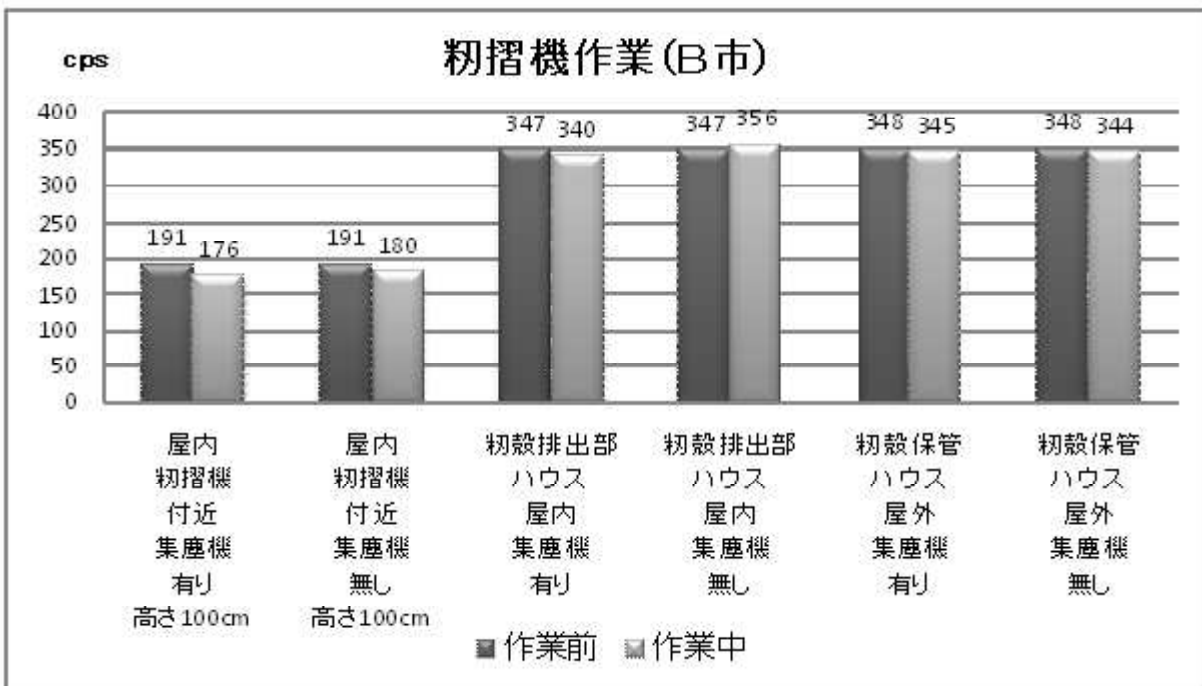
(3) 籾摺機による作業



ア A市において、籾摺機作業に伴う放射線量の調査を行いました。

籾摺機のある屋内、及び屋外の排塵口周辺における放射線量は、作業前と作業中でほとんど変化がありませんでした。

イ B市において、集塵機を設置した場合の籾摺機作業について調査を行いました。集塵機の有無にかかわらず、籾摺機のある屋内、及び籾殻を排出するハウス内外における放射線量は、作業前と作業中でほとんど変化がありませんでした。



2 水稻収穫作業上の留意点

(1) 適期刈取

今年の出穂期はひとめぼれが平年より2～5日、コシヒカリでは平年並～3日程度遅れ、県全体としてはおよそ2日の遅れとなりました。

刈取が早いと青未熟粒が多くなり、刈り遅れるほど光沢がなく着色粒や胴割粒が増加し品質が低下します。出穂後の積算気温を見て、平年であればひとめぼれで950

℃、コシヒカリで1000～1050℃に到達する日を刈取適期の目安として刈り始め、おおむね10日以内に刈り終わるよう計画すると良いでしょう。

なお、最終的には籾の黄化状況（黄化率90～95%）を確認して刈取適期の判断を行います。地域の詳細については、最寄りの農林事務所にお問い合わせください。

表－4 本年出穂期と積算気温到達予想目安（9月9日現在）

アメダス地点	ひとめぼれ出穂期	950℃	コシヒカリ出穂期	1000℃
福島	8 / 5	9 / 12	8 / 12	9 / 24
郡山	8 / 10	9 / 21	8 / 14	9 / 30
会津若松	8 / 7	9 / 16	8 / 13	9 / 27
相馬	8 / 6	9 / 16	8 / 10	9 / 24

（2）土壌混入の防止

土壌中にある放射性物質の混入を防止するため、今年には以下に注意して刈取作業を進めてください。

【共通事項・コンバイン収穫】

- ア 雨天を避け天気の良い日に、田面が乾いた状態で作業を行う。
- イ 稲体が乾いた状態で作業を行う。
- ウ 地際部は泥の付着が大きいので、刈り取る高さを調節し清浄な稲束を確保する。
- エ 隅刈りなど手刈りした稲束は、シートや清浄な稲ワラ等を敷いてその上に乗せる。
- オ 倒伏した稲は刈り分けを行い、別に処理する。
(カントリーエレベータなど共同乾燥調製施設では徹底をお願いします)
- カ コンバインやバインダー、稲刈り鎌等、農業機械類や農具の清掃を徹底する。

【バインダー刈りの場合】

バインダー収穫では、稲束を一時的に田面に放置することが避けられませんが、共通事項の他、以下の項目にも注意してください。

- キ 刈取後は稲束をていねいに扱い、速やかに棒掛けやはせ掛けを行う。
- ク 自然乾燥後は、天気の良い日に脱穀し、稲ワラが汚染しないよう収納する。

（3）作業に伴う粉塵（ふんじん）対策

収穫・乾燥・調製作業に伴い粉塵が発生しますので、**防塵マスクや長袖の着用**に努めてください。

問い合わせ先：農林水産業に関する相談窓口（電話：024-521-7319）
 ホームページ：農林水産部研究技術室ホームページ（PDF形式ファイル）
 URL <http://www.pref.fukushima.jp/keieishien/kenkyuukaihatu/gijyutsufukyu/seikugijyutsujyousei.html>

（他の農業技術情報等をご覧ください）

モバイル県庁：福島モバイル県庁→お知らせ・各種情報→農業技術情報
 （右欄に掲載のQRコードよりご覧ください）



モバイル版 QRコード